



内閣府

～美ら島の未来を拓く～沖縄総合事務局
定例記者会見（４月）

平成29年4月20日（木）14：00～
沖縄総合事務局6階「特別会議室」

【発表事項】

1. 災害復旧事業費の状況について
2. 平成29年度「消費者の部屋」特別展示のスケジュールについて
3. 沖縄周辺海域における外国漁船の集中取締りの実施について
4. 平成28年度 国営沖縄記念公園の入園者数について
－ 過去最高の762万人を記録 －

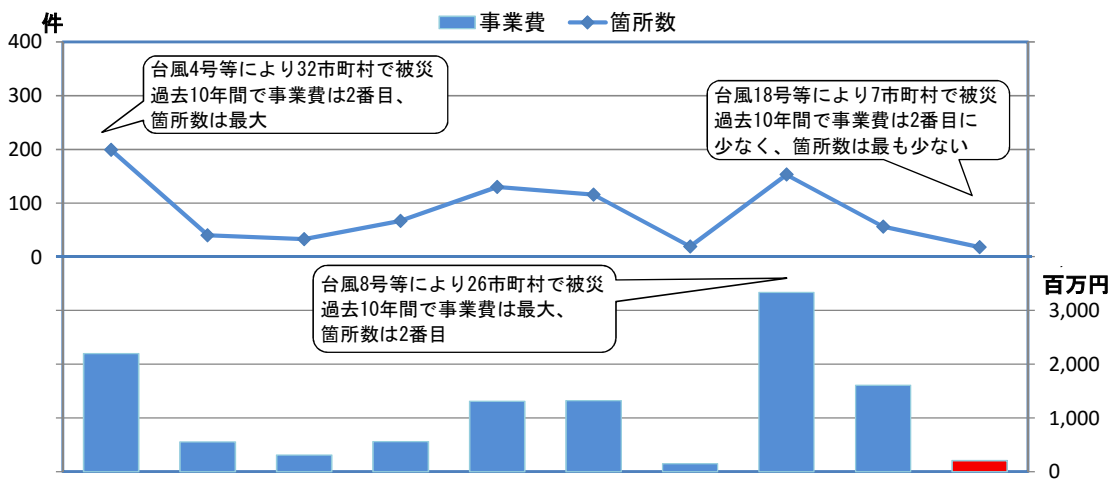
出席者	沖縄総合事務局			
	局長	能	登	靖
	次長	仲	程	倫由
	次長	菊	地	春海
	総務部長	山	谷	英之
	財務部総務調整官	嵩	原	俊毅
	農林水産部長	遠	藤	順也
	開発建設部長	成	瀬	英治

災害復旧事業費の状況について

- ・平成28年の災害復旧事業費の査定立会結果は2億円
- ・過去10年間でみると2番目に少ない規模

1. 災害復旧事業費の状況

- 平成28年に管内で発生した災害に係る災害復旧事業費の査定立会結果は、18件、205百万円となった。
- 過去10年間でみると、事業費は平成25年に次いで2番目に少なく、箇所数は最も少ない規模となった。



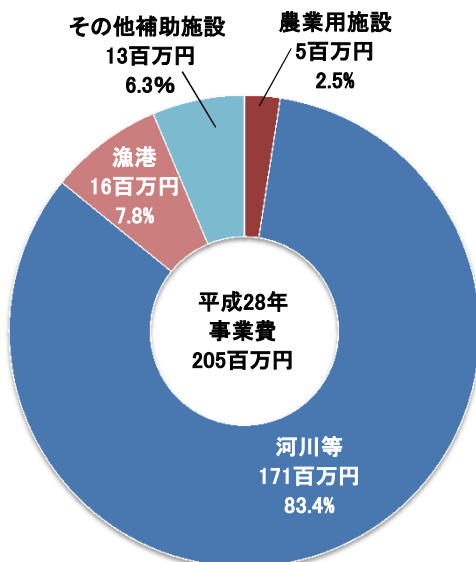
(単位: 件、百万円、市町村)

	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	平成28年
箇所数	199	40	33	67	130	116	19	153	56	18
事業費	2,199	549	309	558	1,307	1,318	148	3,335	1,605	205
被災地数	32	4	13	15	27	27	7	26	17	7

(参考) 沖縄地方の天候(抜粋) (出所: 沖縄気象台)

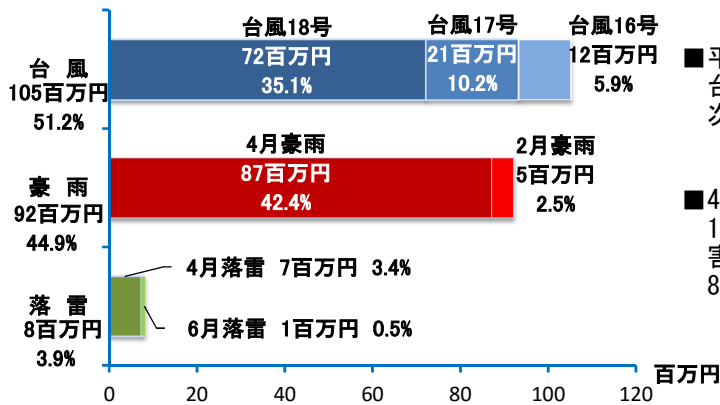
- ・平成28年 台風第18号は、久米島の南の海上で中心気圧905hPaと発達し、勢力を維持しながら久米島にかなり接近して通過した。最大瞬間風速は久米島空港で59.7m/sを記録。沖縄本島地方及び久米島に暴風特別警報を発表した。
- ・平成26年 台風第8号の接近に伴い、7月7日宮古島地方と沖縄本島地方に全国で初めて台風等を要因とする特別警報を発表した。また、7月19日には沖縄本島地方に大雨特別警報を発表した。
- ・平成19年 台風第4号の暴風域は7月13日06時には台風中心の東側280km、西側150kmに拡大し、台風の進行速度も若干減速したため、沖縄本島地方ではほぼ一昼夜の間、暴風が吹き荒れた。

2. 施設別の状況



- 平成28年の災害復旧事業費を施設別でみると、河川等が171百万円(全体の83.4%)と大宗を占め、次いで漁港16百万円(7.8%)、その他補助施設13百万円(6.3%)、農業用施設5百万円(2.5%)となっている。

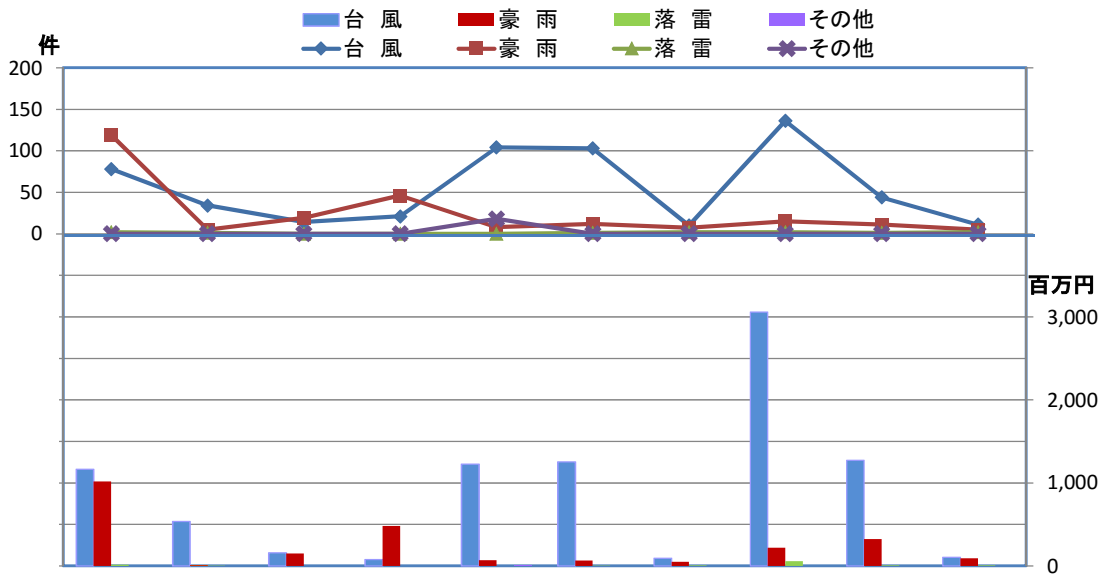
3. 災害原因別の状況



■平成28年の災害復旧事業費を災害原因別で見ると、台風が105百万円（全体の51.2%）と最も多く、次いで豪雨92百万円（44.9%）、落雷8百万円（3.9%）の順となっている。

■4月の豪雨災害87百万円（42.4%）、10月の台風18号災害72百万円（35.1%）、9月の台風17号災害21百万円（10.2%）で28年事業費205百万円の87.7%を占めている。

【災害原因別の推移】



(単位: 上段 箇所数・件、下段 事業費・百万円)

災害原因	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	平成28年
台風	78 1,164	34 535	14 158	21 76	104 1,228	103 1,252	10 92	136 3,059	44 1,273	11 105
豪雨	119 1,017	5 12	19 151	46 481	8 69	12 64	7 49	15 218	11 322	5 92
落雷	2 17	1 1					1 7	2 58	1 9	2 8
その他					18 9					

(注)平成23年の「その他」は、地震(東日本大震災関連)

【(参考)台風発生等の状況(出所:沖縄気象台)】

(単位:個)

	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	平成28年
台風発生数	24	22	22	14	21	25	31	23	27	26
うち沖縄県 接近数	8	6	3	6	7	11	9	10	6	7

【お問い合わせ先】
沖縄総合事務局財務部理財課(主計班)
電話 098-866-0092

平成29年度「消費者の部屋」特別展示のスケジュールについて

当局農林水産部では、庁舎1階に「消費者の部屋」を常設し、食育の推進、国産農林水産物の消費拡大、食品の安全等に関して、パネルやパンフレットで情報提供を行っているほか、期間限定の農林水産業に関する特別展示を行っています。
 この度、平成29年度の特別展示スケジュールを決定しましたので、御案内します。

1. スケジュール
 平成29年9月から平成30年2月までの間、1週間単位で計7回開催する予定です。(詳細は、別紙「平成29年度 特別展示スケジュール」を参照。)
2. 内容
 今年度は、県内各地の地域特性を活かして生産される農産物の紹介や酉年にちなんだ鶏の飼養・生産状況、農業農村整備事業による地下ダム等の整備状況のほか沖縄における病害虫防除対策の取組等について、パネルやビデオ等で紹介します。
 また、沖縄の農林水産業や当局の取組について、御来場の皆さまにわかり易く御理解いただけるよう、農産物の実物展示、これを原料とした加工食品の試食、地下ダム等の模型展示など楽しい企画も実施します。
3. 場所
 行政情報プラザ・消費者の部屋
 (那覇市おもろまち2-1-1「那覇第2地方合同庁舎2号館1階」)

【参考】平成28年度特別展示の状況



(農産物加工食品の展示・試食)

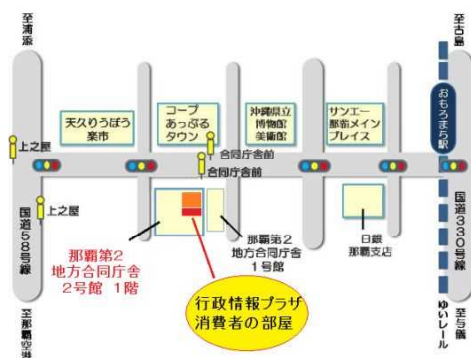


(さとうきび奨励品種の展示)



(農業農村整備のパネル展)

【地図】



問い合わせ先
 内閣府 沖縄総合事務局
 農林水産部 消費・安全課
 担当者：宮里・玉城・島袋
 TEL：098-866-1672
 FAX：098-860-1195

沖縄総合事務局 農林水産部「消費者の部屋」

平成29年度 特別展示スケジュール



平成29年4月20日現在

期 間	特 別 展 示 名	展 示 内 容
9月11日 ～ 9月15日	沖縄の農産物に関するパネル展	県内各地で地域特性を活かして生産される農産物について、生産の動向、産地の形成、生産技術等をパネルにより紹介するとともに、農産物を使った加工品や実際の農産物を展示し、沖縄の農業生産の状況について理解を深めます。
10月16日 ～ 10月20日	統計データから見た沖縄の農林水産業	10月18日の「統計の日」にちなみ、沖縄総合事務局が実施している農林水産統計調査の結果を基に、沖縄県の農林水産業について分かりやすくグラフ等にしたパネル展を開催します。
10月30日 ～ 11月2日	容器包装リサイクル・食品リサイクルパネル展	沖縄総合事務局では、大量の廃棄物処理を巡る問題が深刻化する中で、廃棄物の排出抑制、分別収集、再商品化等の促進に取り組んでいます。「容器包装リサイクル法」「食品リサイクル法」について、制度や仕組みを分かりやすく展示します。
11月6日 ～ 11月10日	鶏のパネル展 ～鶏についてもっと知ろう～	県内の鶏(養鶏)の飼養状況、生産状況等について、全国との比較を交え分かりやすくパネルにして展示します。また、県内及び全国の地鶏(銘柄鶏)について、その特色などを紹介します。
11月20日 ～ 11月24日	防風林のパネル展	11月第4木曜日は沖縄県の「防風林の日」です。台風などの自然災害から農作物を守る防風林の役割や普及の取組などについて紹介するパネル展を開催します。
12月11日 ～ 12月15日	沖縄における農業農村整備事業及び農山漁村活性化対策の取組	沖縄総合事務局では、干ばつ被害の軽減や農業経営の安定化を図るため、農業農村整備事業を実施しています。今回、平成16年度から整備が進められてきた国営伊江農業水利事業による地下ダム等の供用が本年4月に開始され、11月に完工式を行う予定となっていますので、その内容をパネル、模型、ビデオ等で紹介します。また、併せて、沖縄県における農泊の紹介やインバウンドを対象とした農林水産物・食品の消費及び農泊の実態調査の結果について、分かりやすくパネルにして展示します。
2月13日 ～ 2月16日	沖縄における病害虫防除対策の取組	沖縄には、本土では未発生の病害虫が発生しており、沖縄総合事務局では、県等の関係機関と連携し、病害虫の根絶と農作物への被害軽減を図るための取組を行っています。特別展示では、沖縄の農業振興上、大きな障壁となっていたミバエ類の根絶までの取組と現在も続けている防除事業等について、パネルや模型等を展示して分かりやすく紹介します。

* 特別展示の時間は、9時から17時までです。ただし、展示最終日は9時から15時までです。

* この特別展示スケジュールは、都合により追加・変更されることがあります。

* 詳しくは、「消費者の部屋」担当までお問い合わせ下さい。TEL:098-866-1672 (消費・安全課 消費安全班)



平成29年4月20日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

沖縄周辺海域における外国漁船の集中取締りの実施について
(水産庁・沖縄総合事務局外国漁船合同対策本部)

沖縄周辺海域におけるまぐろの盛漁期（平成29年4月から7月末まで）の間、沖縄等の我が国漁業者が外国漁船とのトラブルなく安心して操業できるよう、昨年度に続き、漁業取締船と取締航空機を日台民間漁業取決め適用水域周辺海域や先島周辺海域に重点的に配備し、監視・取締りを強化します。

1 集中取締りの背景

沖縄周辺海域での日本と台湾の漁業関係においては、平成25年4月に「日台民間漁業取決め」が署名され、平成26年1月には「日台民間漁業取決め適用水域における操業ルール」が合意され、遵守すべき操業ルールが作られました。これ以降、毎年、日台漁業委員会において、操業ルールについての協議が行われています。

2 実施時期

平成29年4月から7月末まで

3 実施機関

水産庁・沖縄総合事務局外国漁船合同対策本部
(所在地：那覇第2地方合同庁舎1号館)

4 取締体制

- ・ 通常期における漁業取締船に加え、水産庁本庁から漁業取締船を派遣
- ・ 取締航空機による監視
- ・ 水産庁からの取締要員の派遣

【参考】

水産庁及び沖縄総合事務局による沖縄周辺海域における外国漁船の拿捕件数

年	H23	H24	H25	H26	H27	H28
件数	1	3	4	3	2	0

【問い合わせ先】

水産庁・沖縄総合事務局外国漁船合同対策本部
担当者：今村
電話：098-988-1916

平成 28 年度 国営沖縄記念公園の入園者数について

— 過去最高の 762 万人を記録 —

平成 28 年度の国営沖縄記念公園（海洋博覧会地区・首里城地区）の入園者数は、これまでの最高だった、平成 27 年度の 728 万人を 34 万人上回って 762 万人となり、4 年連続で過去最高を更新しました。

海洋博覧会地区では、平成 28 年 9 月 24 日に累計入園者数 9 千万人を達成し、年間の入園者数は 5 年連続で過去最高を更新しました。

また、首里城地区の入園者数も開園の平成 4 年度以来、過去最高を記録しました。

なお、海洋博覧会地区の主要施設である「沖縄美ら海水族館」の入館者数は、3 年連続で過去最高を更新し、また、首里城地区の有料区域は、歴代 3 位を記録しました。

国営沖縄記念公園の入園者数増加は、好調が続いている県内の入域観光客数の増加や、海洋博覧会地区では、海洋博公園 40 周年関連行事の「海洋博公園花火大会（県内最大級の約 1 万 4 千発の花火の打ち上げ）」（7 月 16 日）や、その他各種イベントにおいても入園者数が増加したことが、また、首里城地区では、首里城と花をテーマにしたイベント「琉球の華みぐい」の開催（1～2 月）等による入園者数の増加が主な要因と考えています。

（1）国営沖縄記念公園の入園者数

	平成 28 年度	平成 27 年度	前年度比	摘要
海洋博覧会地区	4,889,038 人	4,607,961 人	6.1%増	5 年連続過去最高
首里城地区	2,727,677 人	2,672,823 人	2.1%増	歴代 1 位
国営沖縄記念公園 合計	7,616,715 人	7,280,784 人	4.6%増	4 年連続過去最高

（2）主要施設入館者数

	平成 28 年度	平成 27 年度	前年度比	摘要
沖縄美ら海水族館	3,628,332 人	3,408,521 人	6.4%増	3 年連続過去最高
首里城（有料区域）	1,886,939 人	1,875,838 人	0.6%増	歴代 3 位

国営沖縄記念公園の入園者数の推移

